

「平成30年度研究成果報告会」

# 地域コミュニティの 防災力の向上 シンポジウム



—みんなが「助かる社会」の構築をめざして—

ひょうご震災記念21世紀研究機構は、兵庫県のシンクタンクとして、阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえ「安全・安心なまちづくり」と「共生社会の実現」のための調査研究を進めています。本シンポジウムでは、その調査研究の一環として平成29～30年度に実施した「地域コミュニティの防災力向上に関する研究～インクルーシブな地域防災～」の研究成果について報告します。

大規模な災害が多発し、公助の限界が声高に言われ自助、共助の重要性が再認識されて久しい昨今、人口減少、超高齢化による担い手の不足や、コミュニティの希薄化が進むなか、どのようにして地域コミュニティの防災力を向上させるか再考の時を迎えています。

この研究会では、地域の個性や地域住民、行き交う人々の多様性に配慮したインクルーシブな地域防災とはいかにあるべきか、学知と実践知の両面から検討し、社会実装に向けて研究してきました。インクルーシブという言葉の原理的考察に加え、テーマ別課題（障害、ペット、子ども、観光）を整理した上で、事例調査、モデル地区（兵庫県上郡町赤松地区）との協働実践研究を行い、地域コミュニティの防災力向上とは、「まちづくりに包含される「助かる社会」の構築である」と結論づけました。

当機構で取り組んできたこうした研究成果の報告を行うとともに、その成果を問うため、本シンポジウムを開催し、参加者の皆様と知識を広く共有することを図ります。



日時  
令和元年 6月3日(月)  
13:30～16:30(12:30開場)  
場所／ホテルモントレ姫路(裏面参照)

定員 100名 (先着順)  
参加費 無料

## Schedule

■挨拶

基調講演 13:45～



「地域コミュニティの防災力の向上  
—みんなが「助かる社会」の  
構築をめざして」

渥美 公秀

大阪大学大学院人間科学研究科教授

パネルディスカッション 14:45～

「まちづくりに包含される「助かる社会」とは」



コーディネーター

矢守 克也

京都大学防災研究所教授  
人と防災未来センター上級研究員



コメンテーター

室崎 益輝

兵庫県立大学大学院  
減災復興政策研究科長・教授

基調報告 14:15～

「赤松地区連合自主防災組織の取り組み」

古正 好晴

兵庫県上郡町 赤松地区連合自治会長

パネリスト

宮本 匠

兵庫県立大学大学院  
減災復興政策研究科講師

村井 雅清

被災地NGO協働センター 顧問

小林 郁雄

兵庫県立大学大学院  
減災復興政策研究科特任教授  
人と防災未来センター上級研究員

山田 壽範

兵庫県上郡町役場 住民課 副課長

..... 休憩(15分) ..... ■閉 会

主催：公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構

後援(予定)：兵庫県(西播磨県民局、中播磨県民センター、東播磨県民局、北播磨県民局)、関西広域連合、上郡町



阪神・淡路大震災25年

## 会場案内

# ホテルモントレ姫路 3階ラフェスタ

〒670-0927 兵庫県姫路市駅前町60

## ■アクセス

\*ホテルはJR姫路駅直結です。  
JR姫路駅東口よりホテルへお越し下さい。



## お申し込み方法／令和元年5月27日(月)までにお申し込みください

- 参加ご希望の方は、FAX・電話・E-mailのいずれかでお申し込みください。
- FAXでお申し込みの方は、下記の欄にご記入の上、078-262-5593に送信してください。
- 電話でお申し込みの方は、078-262-5570までお電話ください。
- E-mailでお申し込みの方は、下記欄の内容を、research@dri.ne.jpまで送信してください。

名前	所属団体 / 役職名	連絡先住所
		〒  TEL/FAX  E-mail
		〒  TEL/FAX  E-mail
		〒  TEL/FAX  E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、当機構で適切に管理するとともに当機構の活動に関してのみ使用します。※定員オーバーになり、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター研究調査部 (月～金/9:00～17:45土日祝日休み)  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6階 電話番号078-262-5570 e-mail:research@dri.ne.jp